

交剣知愛

会長 入井 徳明

事務局 幹事長 中川 岳人

第614号(2024年10月号)
(2024年10月31日発行)

IGKC ホームページアドレス
<http://www.npo-igkc.or.jp>

【会長挨拶】

素晴らしい候、会員の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、10月月例会においても大勢の会員の皆様、ご指導の先生方のご参加を賜り充実した稽古会を実施することが出来ましたことを心から感謝申し上げます。
さて、来月には広島県福山市で開催される全国例会・国際親善剣道大会に引き続き、昇段審査”秋の陣”を迎えます。会員の皆様には目標に向けた普段のご努力の成果が実を結ばれますようご祈念申し上げます。
昼夜の寒暖の差が厳しい折柄、体調管理には十分ご注意ください。

【月例会】

当月は、10月12日(土)15時から17時30分までの間、中央区立総合スポーツセンターにおいて実施しました。

【集合写真】



1 参加者

指導の先生: 近光正範士

川瀬能男教士 伊藤裕見教士 松原治教士

飯田茂裕教士 小林一郎教士

参加者数: 39名

2 稽古内容

準備運動後、模擬審査、廻り稽古、指導稽古を実施しました。

【模擬審査】



【稽古風景】



【近範士講話】

稽古の終わりに近範士から剣道の極意でもある「懸待について」ご教授頂きました。

(要約)

- ・懸かる、待つ心の構えは、先の争い・先の取合いであり、剣道のすべてである。
- ・先には三つの先があり、「懸の先：自分からかかるときの先」「待の先：相手が自分にかかるときの先」「躰々の先：互いにかかりあうときの先」があり、懸かることと待つことを合わせて考えなければ、技にはならない。
- ・立ち会い蹲踞から立ち上がり、触刃の間から開始し大きく、柔らかく、ゆっくり攻め込み相手の動きを見ながらまっすぐに打ち込む。(自分勝手ではいけない)
- ・実技を交えながらご指導頂きました。

【事務局からのお知らせ】

1 2024年度全国例会・国際親善剣道大会

広島県福山市で開催される全国例会・国際親善剣道大会に関東地区クラブから27名の会員が参加します。

・個人戦及び団体戦4チームが出場

2 今後の月例会の予定

月 日	時 間	場 所
11月17日(日)	13:00~16:00	新宿スポーツセンター第2武道場
12月21日(土)	16:00~18:00	目黒区立中央体育館
1月19日(日)	13:00~16:00	新宿スポーツセンター第2武道場

細部については別途お知らせします。

(1)新宿スポーツセンター利用時の留意事項

①新宿区剣道連盟との合同稽古の形態をとっています。

②当会会員以外の新宿区剣道連盟会員が参加する場合がありますので予めご承知ください。

(2)12月21日(土)月例会終了後、反省会を予定しています。

3 2024年度会費納入者(2024年10月1日~10月28日)

内田浩史、佐々木鉄也、近光正 (敬称略)

4 会費納入のお願い

今年度も事業運営は前半が過ぎ下半期の運営に入っています。

当クラブの事業運営は会員の皆様からの会費がすべてです。

2024年度会費を未納の方は早急に納入をお願いします。

また、2023年度会費未納の方は2024年度分と併せて納入してください。

個人会員会費	
外国人会員	10,000円
40歳未満の会員	10,000円
剣道八段以上を有する会員	10,000円
家族会員	8,000円
40歳以上の会員	20,000円
*年齢は2024年度末(2025年2月28日)時点の年齢	